

2. 「概略ルート（案）」

**(1) 「コントロールポイント
及び配慮事項」の再整理**

1. コントロールポイント及び配慮事項の考え方

コントロールポイント

既に存在しており、極力避けたり、アクセスしなければいけないもの

- 道路のルートを検討する際に、極力避けるべきもの

(豊岡清掃センターは移転が決まったため、コントロールポイントから除外した。)

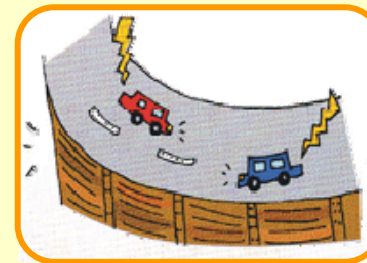


配慮事項

コントロールポイント以外の地形や環境など配慮が望まれるもの

- ルートの配慮事項
道路のルートを検討する際に、地域の状況をふまえて考慮するもの
- 技術的検討課題
ルートだけでなく、構造で配慮するもの

エコロード
道路としての機能は重要



景観に配慮



2. コントロールポイント

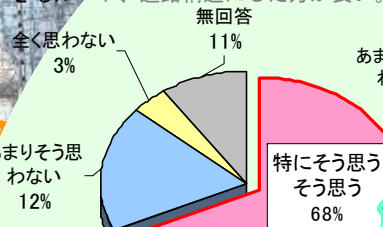


コントロールポイント

自然	・コウノトリ現利用域、ビオトープ ・オオタカ営巣期高利用域
社会環境	・学校 ・病院 ・住宅等施設
文化財等	・雅成親王陵 ・高屋霊園
公共施設	・コウノトリ但馬空港 ・浄化センター ・中央卸売市場 ・最終処分場
防災関連	大規模地滑り箇所

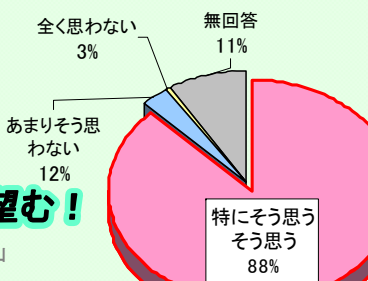
住民の68%が 貴重な動植物との共存を望む！

【設問】コウノトリや生態系の頂点であるクマタカなど貴重な動植物と共存できるルート、道路構造にした方が良い。



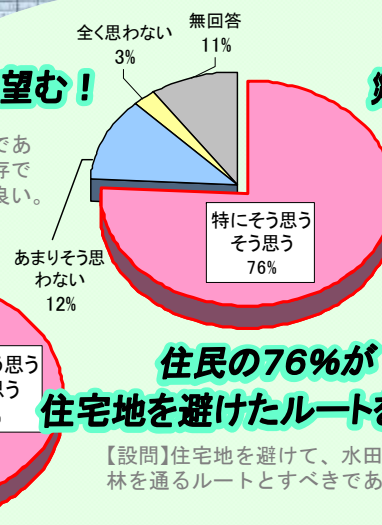
住民の88%が 災害時の緊急輸送道路として走行できるルート を望む！

【設問】災害時でも緊急輸送路として走行できるようなルート、道路構造にした方が良い。

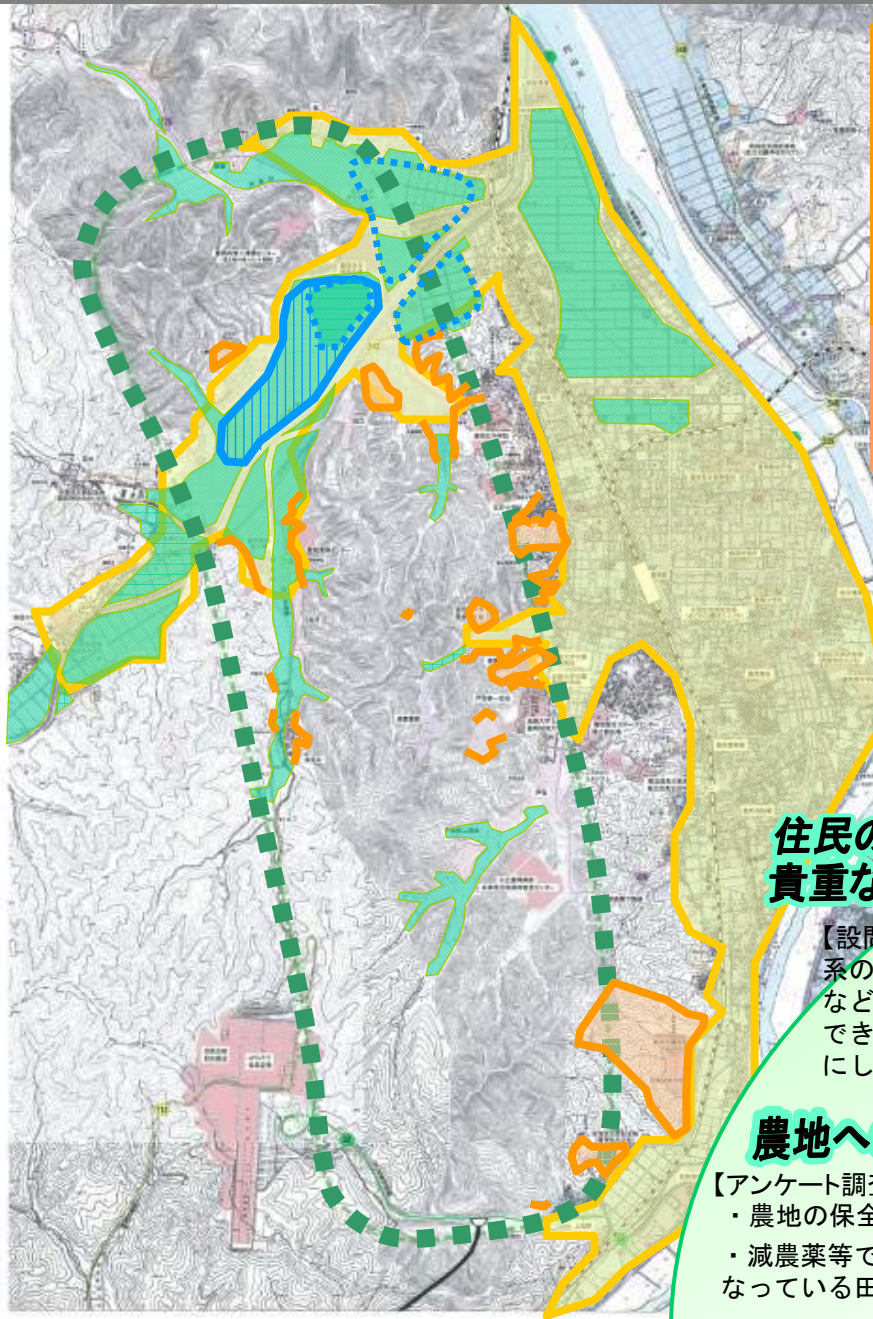


住民の76%が 住宅地を避けたルートを望む！

【設問】住宅地を避けて、水田や山林を通るルートとすべきである。



3. 配慮事項

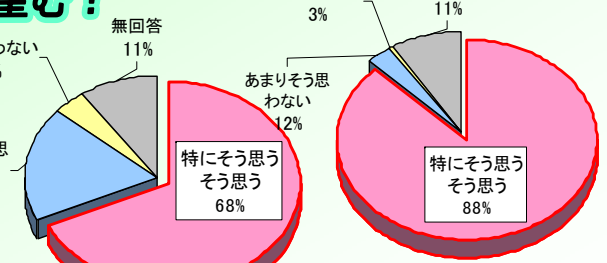


配慮事項	
自然	・コウノリのえさ場(将来)
社会環境	・農地 ・景観(範囲は示せず)
防災関連	・浸水域 ・土砂災害箇所(大規模なもの除く)

- ・道路のルートを検討する際に、地域の状況をふまえて考慮するもの
- ・ルートだけでなく、構造で配慮するもの

**住民の88%が
災害時の緊急輸送道路として走行できる構造を望む!**

【設問】災害時でも緊急輸送路として走行できるようなルート、道路構造にした方が良い。 全く思わない 3% 無回答 11%



**住民の68%が
貴重な動植物との共存を望む!**

【設問】コウノリや生態系の頂点であるクマタカなど貴重な動植物と共存できるルート、道路構造にした方が良い。

農地への配慮!

- 【アンケート調査・懇談会での意見】
- ・農地の保全を考えてほしい。
 - ・減農薬等での取り組み、ブランド米と
- なっている田圃は配慮が必要。

景観への配慮!

- 【アンケート調査・懇談会での意見】
- ・景観を損なうと観光産業にとって大きな打撃。
 - ・懇談会で、ぜひ景観に配慮すべき事項を整理すべき。

4. アンケート調査と第1・2回懇談会での意見による コントロールポイントと配慮事項の整理(案)

項目	意見	対 応		
		コントロールポイント	配慮事項	
			ルート検討上の配慮事項	技術的検討課題
自然	貴重な動植物との共存	○ (コウトリえさ場(現在)、オオタカ)	○ (コウトリえさ場(将来)、生育環境)	
	自然への配慮		○	○
社会環境	救急医療とのネットワーク	○ (病院)	○ (アクセス)	
	観光資源とのネットワーク		○	○
	住宅地を避ける	○	○	
	水田や山林を通る	○	○	
	農地を避ける		○	
	市街地や病院へのアクセス		○	○
	景観への配慮		○	○
史跡等	神社、仏閣、霊園、遺跡等	○ (霊園)	○ (墓地)	
防災関連	災害時の通行の確保	○ (浸水区域(縦断)、大規模地すべり)	○ (浸水区域、地すべり)	○ (浸水区域、地すべり)
	冬場の走行性			○
その他	軟弱地盤の水田地帯			○
	安全走行性		○	○

(2) 概略ルート（案）の設定

概略ルート(案)の設定

概略ルート(案)の基本条件

<道路の機能>

- 1.所要時間の大幅短縮、一般道の渋滞解消、事故減少に寄与する道路
- 2.災害時、冬季積雪時に機能する道路
- 3.緊急医療活動に資する道路

<道路の線形>

- 1.豊岡道路のおおよその範囲の中でコントロールポイントを避けたルート
- 2.南端は(仮称)豊岡南IC、北端は国道178号
- 3.曲線半径、縦断勾配等の幾何構造は道路構造令の標準値以上
- 4.豊岡病院の近くを通過
- 5.台風23号の浸水高以上
- 6.鳥取豊岡宮津自動車道が今後計画された場合に接続できるルート

概略ルート(案)の基本条件であり、設定するルート(案)でその機能等に大きな差は生じない。

設定した概略ルート(案)

○道路の線形の基本条件から、概略ルート(案)3案が設定可能

○各案のコンセプトは以下のとおり

①案(環境優良案)

- 豊岡南ICから山地部の西側を通過し、新堂付近で国道178号に接続するルート案
- コウノトリの餌場や景観等への配慮が優れる

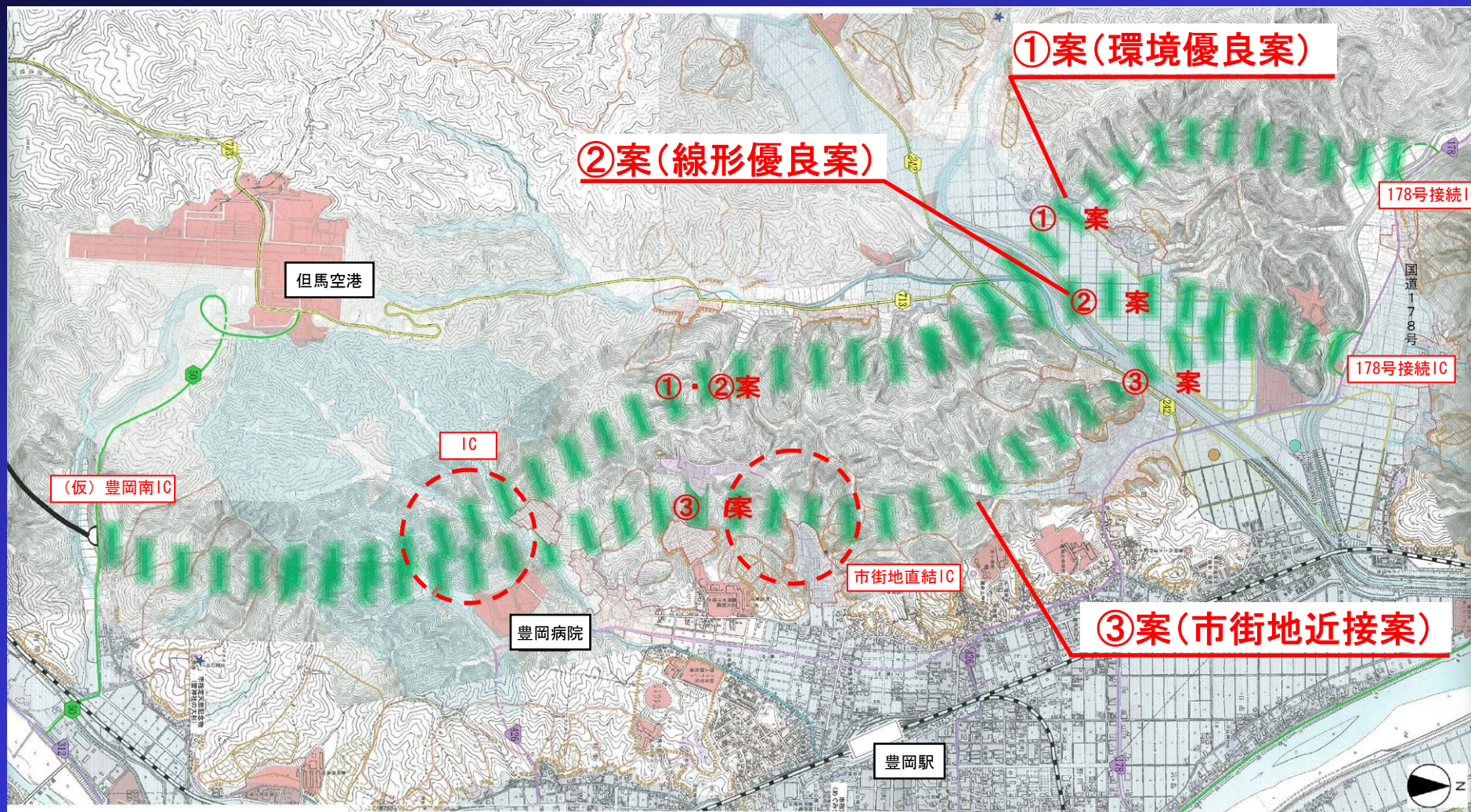
②案(線形優良案)

- 豊岡南ICから山地部の西側を通過し、森津付近で国道178号に接続するルート案
- 道路線形が優れ、走行性がよい

③案(市街地近接案)

- 豊岡南ICから山地部の市街地側を通過し、森津付近で国道178号に接続するルート案
- 市街地直近への追加IC設置の可能性を検討する案で、コウノトリの餌場はコントロールから除外

設定した概略ルート(案)



(3) 概略ルート（案）の比較

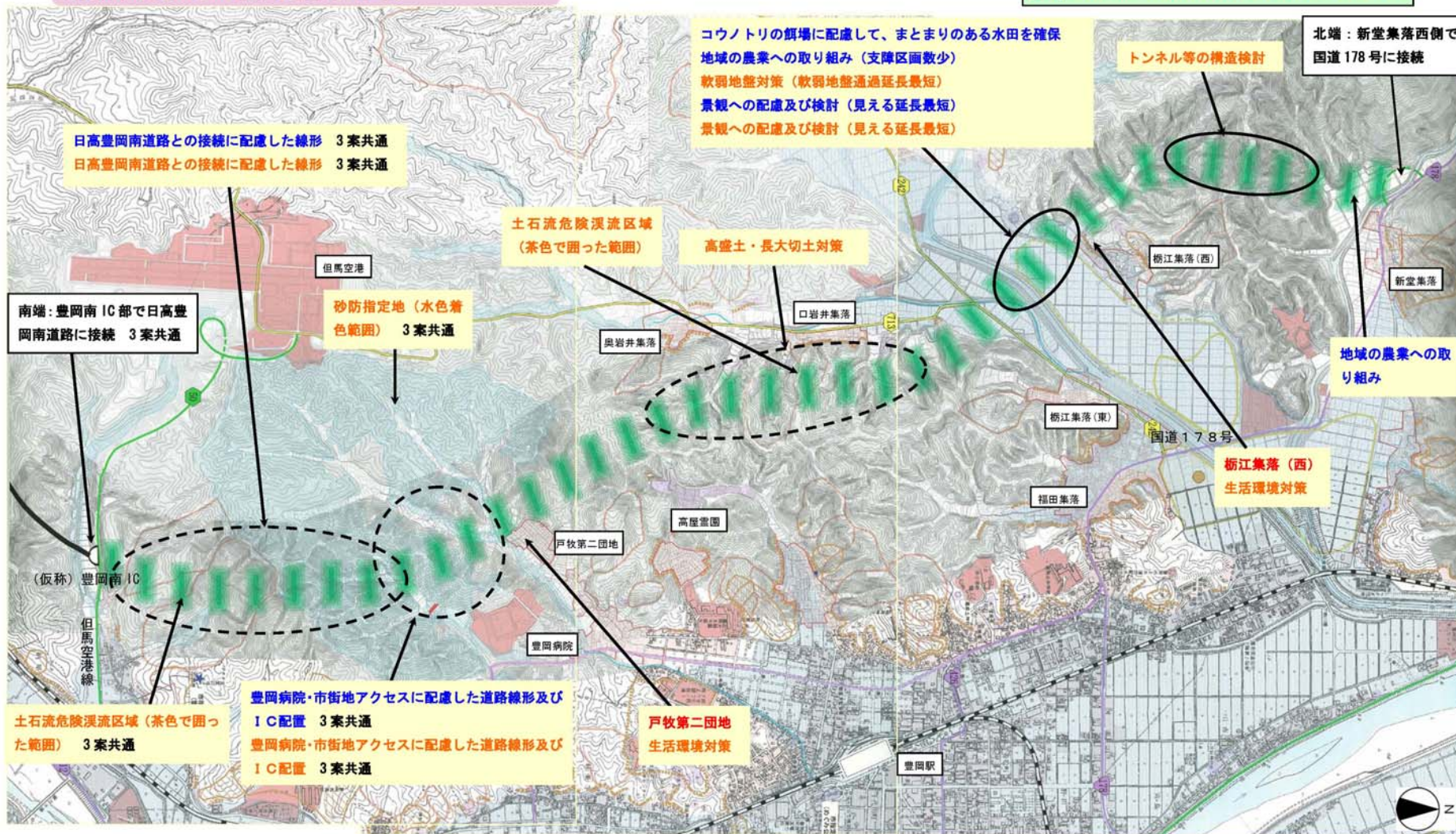
①案(環境優良案)

豊岡道路概略ルート(案) (①案: 環境優良案)

他案に比べて、コウノトリ、景観等への配慮が優れている。
延長がやや長いという点では他案に劣る。

凡例

赤字:	コントロールポイント(近接部のみ表示)
青字:	概略ルート(案)を設定した際の配慮事項
橙字:	さらにルートの絞り込みを行う際の配慮・検討事項

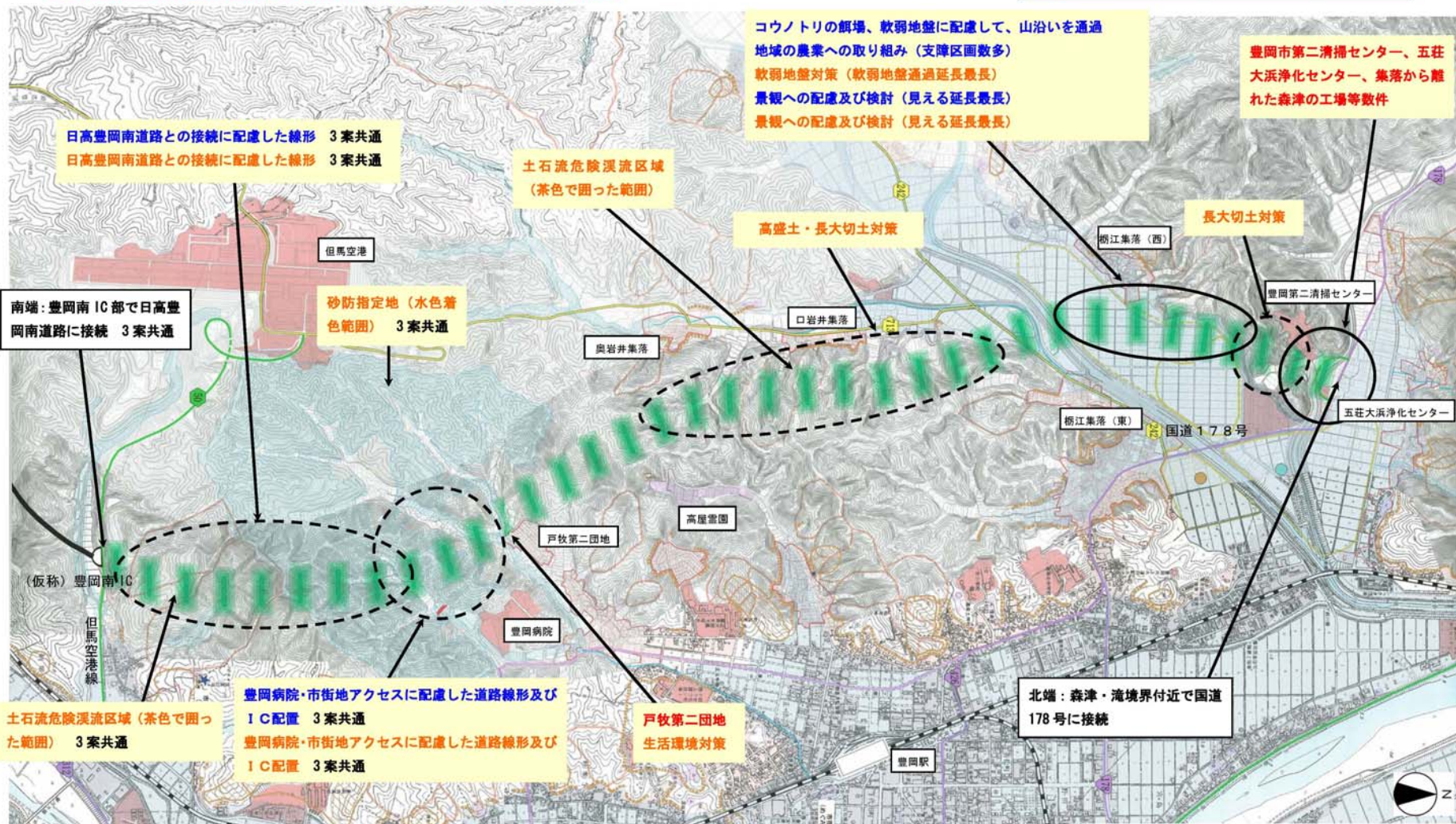


②案(線形優良案)

豊岡道路概略ルート(案)(②案:線形優良案)

他案に比べて、道路線形が優れており、走行性がよい。
コウノトリへの配慮に関しては①案に、景観に関しては他案に劣る。

凡例	
赤字	: コントロールポイント(近接部のみ表示)
青字	: 概略ルート(案)を設定した際の配慮事項
橙字	: さらにルートの絞り込みを行う際の配慮・検討事項



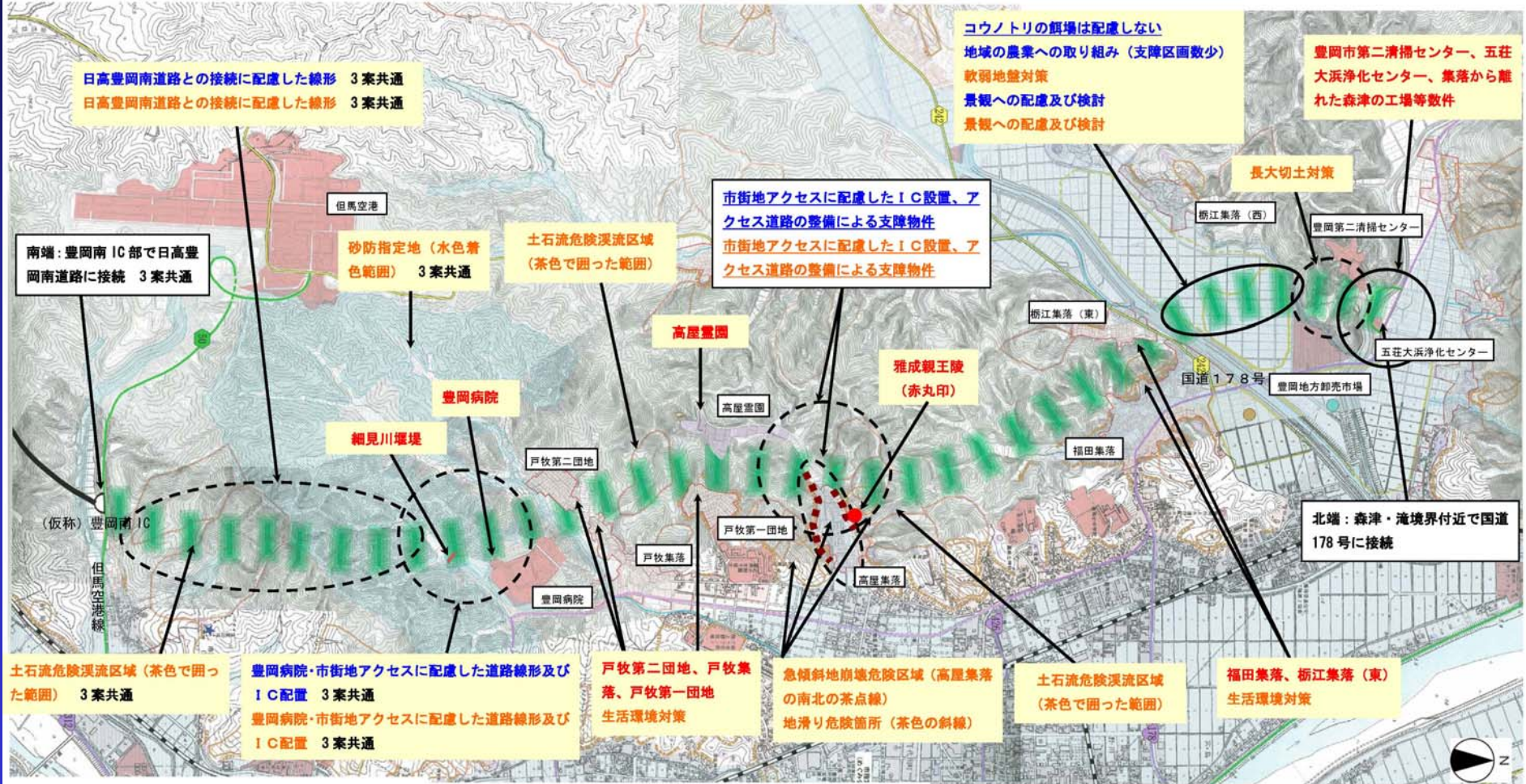
③案(市街地近接案)

豊岡道路概略ルート(案)(③案:市街地近接案)

追加 IC を設置する場合、他案に比べて、市街地等からのアクセスがよい。
 ただし、インターチェンジ及びアクセス道路の整備により、事業費は高くなり、近接する集落等も多い。
 コウノトリの餌場には配慮していない。アクセス道路による支障物件数が多い。

凡例

赤字	: コントロールポイント(近接部のみ表示)
青字	: 概略ルート(案)を設定した際の配慮事項
橙字	: さらにルートの絞り込みを行う際の配慮・検討事項



概略ルート(案)の概略イメージスケッチによる景観

概略イメージスケッチの考え方(福田・栃江の田圃及び奈佐川横断部)

- 構造は今後検討する予定だが、仮に一般に考えられる高架(橋梁)構造を想定
- 高架の道路までの高さは約10m程度(通常より低い)、橋脚の間隔は30m程度を想定
- コウノトリが自動車に衝突しない様にパネルなどを設ける(壁か網かなどは未定)

設定した視点場

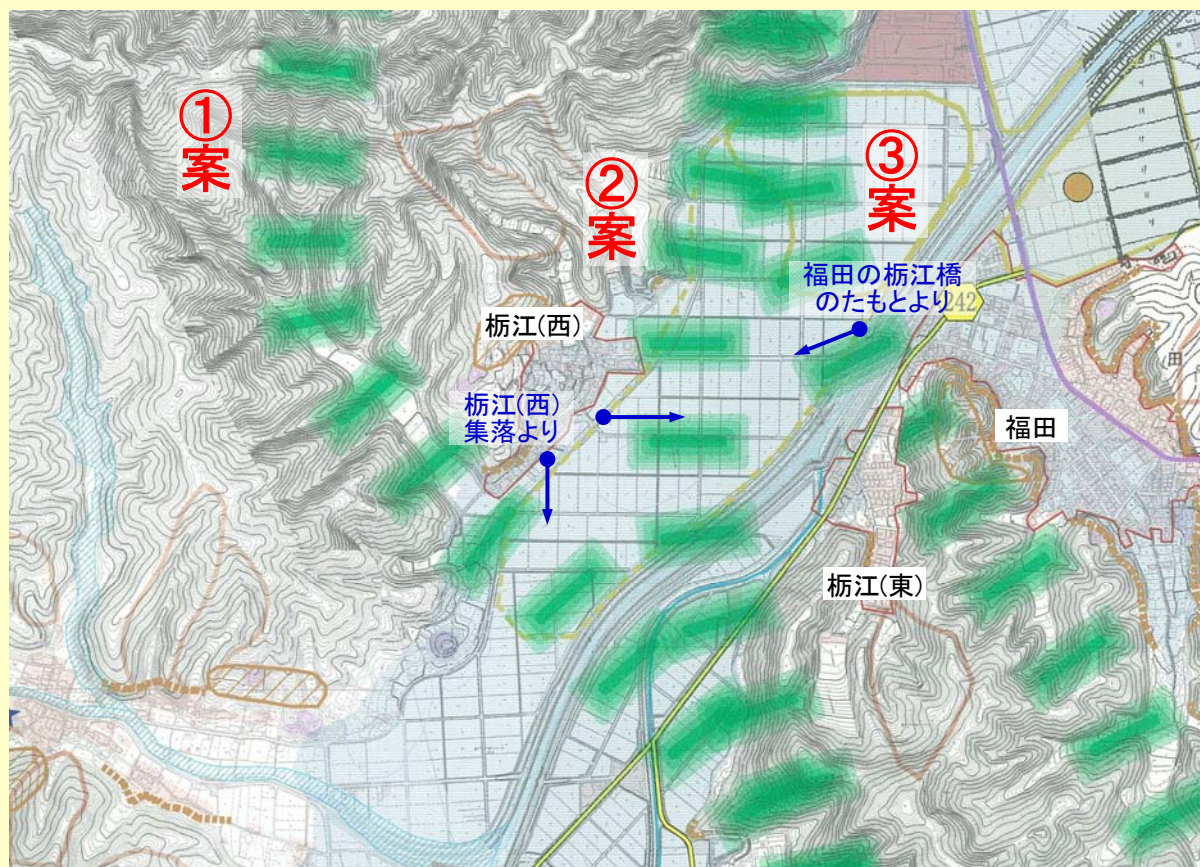
- 福田・栃江からの眺望
景観として設定

[視点場]

- 福田の栃江橋たもと
- 栃江(西)集落

[イメージスケッチ作成]

- 参考として、①案及び
②案のイメージスケッチを作成



福田の栃江橋たもとの景観

①案の概略イメージスケッチ



～福田の栃江橋たもとの南西を望む～

※あくまで概略のイメージ
ルート・構造は今後検討

②案の概略イメージスケッチ



～福田の栃江橋たもとの南西を望む～

※あくまで概略のイメージ
ルート・構造は今後検討

栃江(西)集落からの景観

①案の概略イメージスケッチ

～栃江(西)集落から南を望む～

※あくまで概略のイメージ
ルート・構造は今後検討



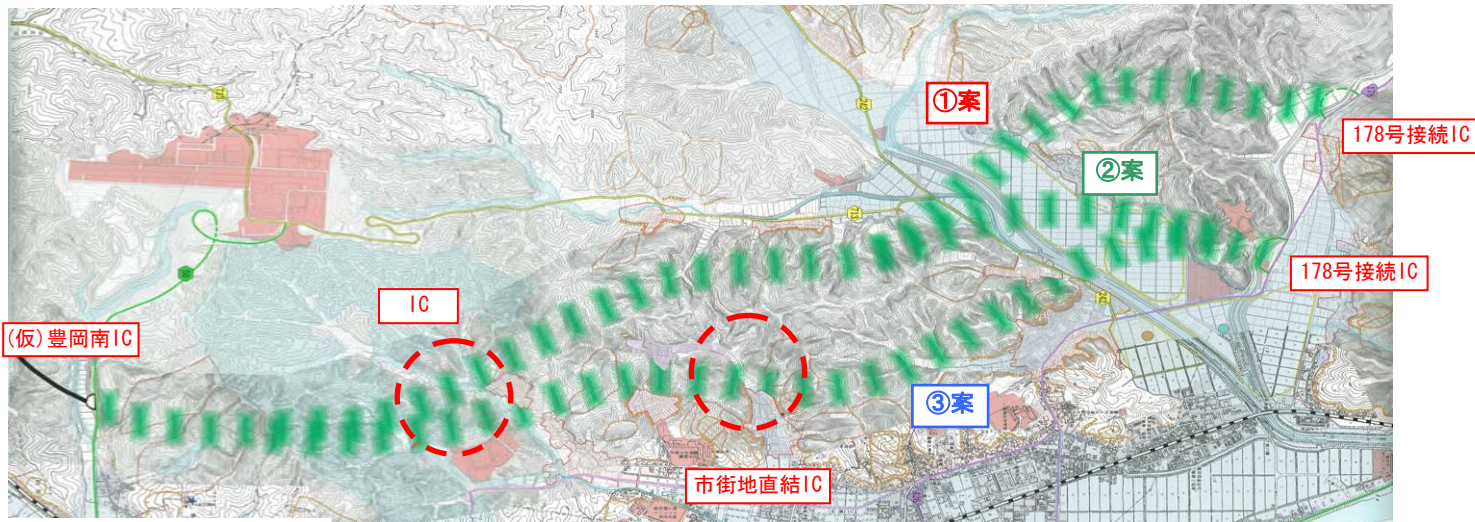
②案の概略イメージスケッチ

～栃江(西)集落から東を望む～

※あくまで概略のイメージ
ルート・構造は今後検討



概略ルート(案)の比較(その1)



地域の活性化

但馬地域の課題		①案(環境優良案)	②案(線形優良案)	③案(市街地近接案)
所要時間の大幅短縮	道路延長及び豊岡道路通過時間	おおよそ7km強[約6分]	おおよそ7km弱[約5分]	おおよそ7km弱[約5分]
	京阪神(大阪市)～城崎までの所要時間	現況の約180分から140分に短縮		
生活道路の渋滞緩和		通過交通を豊岡道路が分担することにより、市街地内の交通量が減少	通過交通を豊岡道路が分担することにより、市街地内の交通量が減少	通過交通を豊岡道路が分担することにより、市街地内の交通量が減少 追加IC設置の場合、ICアクセスが分散するため、①・②案より一般道の交通量は減少する可能性がある

概略ルート(案)の比較(その2)

環境と暮らしを守る道路の整備

但馬地域の課題		①案(環境・機能バランス案)	②案(線形重視案)	③案(市街地近接案)
交通事故の減少		高速道路利用による事故減少、一般道の交通量減少による事故減少		
環境との調和	福田・栃江の水田支障延長(コウノトリの餌場、地域農業への影響)	約350m+栃江の狭い谷部 約500m 水田のまとまりの奥(上流側)で影響(新堂付近でも影響)	約850m 水田のまとまりのほぼ中央で影響	約550m 水田のまとまりの入口(下流側)で影響
	生活環境(大気質、騒音等)への配慮が必要となる可能性のある地区	戸牧第二団地、栃江(西)集落	戸牧第二団地、森津・滝の178号沿道建物	豊岡病院、戸牧第二団地、戸牧集落、戸牧第一団地、高屋集落、福田集落、栃江(東)集落
	地形改変量(自然環境の保全)	栃江～新堂の区間をトンネルにすることにより、他案よりやや切土量は少なくなる	卸売市場西側の山を通過する分、切土量は①案より多くなる	豊岡病院付近、市街地直結のIC部の切土量が多くなる
	景観(特に配慮が必要と予想される視点場と眺望景観の課題等)	福田・栃江付近は、谷奥で奈佐川の流軸に直角に短く通過 栃江集落から南西の景観が課題	卸売市場から福田・栃江付近を広範囲に横切る 栃江集落の正面を横切る 景観が課題、切土が課題	豊岡病院、戸牧第二団地からの景観が課題、卸売市場から福田を広範囲に横切る 景観が課題、切土が課題
災害時の輸送道路確保		大規模災害時には、緊急輸送道路として機能する 豊岡市内外を連絡する主要南北道路が北近畿豊岡自動車道と国道312号の2本となり、リダンダンシーが向上する		
地域医療の支援		豊岡病院付近にインターチェンジを設置することにより、但馬地域の救急医療に寄与		
冬季交通の確保		堆雪幅の確保、必要に応じて融雪設備等を設置することにより、積雪時にも機能する		

概略ルート(案)の比較(その3)

近傍の避けるべきコントロールポイント

項目	① 案 (環境優良案)	② 案 (線形優良案)	③ 案 (市街地近接案)
住宅、公共施設 等	戸牧第二団地、 栃江(西)集 落	戸牧第二団地、豊 岡市第二清掃セン ター跡地、森津・ 滝の178号沿道建 物	細見川堰堤、豊岡病院、戸牧第二団地、 戸牧集落、戸牧第一団地、高屋霊園、高 屋集落、福田集落、栃江(東)集落、豊 岡市第二清掃センター跡地、森津・滝の 178号沿道建物 追加IC設置の場合、アクセス道路により、 15~20件支障する可能性あり
現在使用しているものの 餌場	支障しない	福田の餌場西端付 近を通過	考慮しない(支障する)
オオタカの営巣期高利用域	支障しない		

配慮・検討事項

項目	① 案 (環境優良案)	② 案 (線形優良案)	③ 案 (市街地近接案)
地形・地質条件	豊岡南IC北側の土石流危険溪流区域、豊岡病院付近に広がる砂防指定地		
	軟弱地盤帯(主に 田圃)の通過部 (通過延長最短)	軟弱地盤帯(主に 田圃)の通過部 (通過延長最長)	軟弱地盤帯(主に田圃)の通過部 (通過延長は①案、③案の中間)
	□岩井集落東側の土石流危険溪流区域		戸牧第一団地南側の土石流危険溪流区域、 戸牧第一団地及び高屋集落付近の地滑り 危険箇所及び急傾斜地危険崩壊区域

概略ルート(案)の比較(その4)

円滑な事業の推進 (早期事業化)

項目	①案 (環境優良案)	②案 (線形優良案)	③案 (市街地近接案)
事業費	道路延長はやや長い が、軟弱地盤帯の通 過延長が短いため、 ②案と同程度	道路延長はやや短い が、軟弱地盤帯の通 過延長が長いため、 ①案と同程度	追加IC設置の場合、追加IC費、ICへのアク セス道路設置費及びその補償費のため、他 案より高い
事業手法	早期に整備効果を発揮させるため、地元関係者及び関係機関とのスムーズな合意形 成を目指して早期事業化を図るとともに、早期供用可能な供用形態を検討する		
課題	地元との合意形成 コウノトリの誘致に 積極的な地域を通過 する	地元との合意形成 コウノトリの誘致に 積極的な地域を大き く通過する	合意形成が必要な地区、支障物件が非常に 多い コウノトリが現在餌場としている範囲の水 田を大きく通過する 追加IC設置の場合、インターチェンジ間距 離が非常に短く、交通安全面に課題あり

各概略ルート(案)の得失について懇談会で議論